

令和2年度 第14回高田区地域協議会 次 第

(会 議) 日時：令和3年3月15日(月) 午後6時30分
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

1 開会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 旧今井染物屋の開館日と町家交流館高田小町の開館時間について

(2) 高田区における「内水ハザードマップ」作成及び住民への周知について(回答)

4 議題

(1) 自主的審議事項「高田区における“内水ハザードマップ”作成及び住民への周知について」

(2) 高田区の地域課題等について

(3) 令和2年度地域協議会の活動計画について

5 事務連絡

6 閉会

【次回会議 4月19日(月) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次々回会議 5月17日(月) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

旧今井染物屋の開館日と町家交流館高田小町の開館時間について（報告）

1 旧今井染物屋の開館日について

(1) 耐震改修工事等の状況

今冬の大雪に伴い作業工程に遅れが生じたことから、年度内の工事完了が見込めない状況となったため、令和3年第1回（3月）市議会定例会に繰越明許費を提案させていただきました。現在は、工事の完了を4月中旬と見込んでいます。

(2) 開館日

4月下旬の開館を予定。

2 町家交流館高田小町の開館時間について

・変更前 午前9時から午後10時まで

・変更後 午前9時から午後10時まで

（4月から11月の貸館がない日は、午前9時から午後7時）

（12月から翌年3月の貸館がない日は、午前9時から午後6時）

上下水第 4461 号
令和 3 年 2 月 17 日

高田区地域協議会
会長 本城 文夫 様

上越市長 村山 秀幸
(都市整備部下水道建設課)



高田区における「内水ハザードマップ」作成及び住民への周知について (回答)

令和 3 年 2 月 8 日付けで提出のあった標記の意見について、下記のとおり回答します。

記

当市では、近年、頻繁に発生する集中豪雨等による浸水被害に対し、早期の解消と軽減を図ることを目的に、平成 31 年 3 月に上越市雨水管理総合計画を策定し、雨水幹線や排水ポンプ整備などのハード対策を実施しているほか、ソフト対策として、水位計設置による水位観測情報の提供や、円滑な自主防衛を図るための内水ハザードマップ作成に向けた検討を行っているところであります。

内水ハザードマップの作成には、国が推奨する浸水シミュレーションを用いた解析による方法のほか、浸水実績や地形情報等を活用した簡易的な方法があり、市では簡易的な方法を検討しておりますが、作成にあたっては、浸水シミュレーションと同様に、各地域における地形の状況や、雨水排水路の大きさや勾配などのデータを整理した上で作成していく必要があります。

また、現在、国では、有識者等で構成する「下水道による内水浸水対策に関するガイドライン類改訂検討委員会」において、内水の浸水想定区域図の作成が進むよう、一部の解析を省略した簡易的な手法など、内水ハザードマップ作成を促進するための見直しを進めているとお聞きしております。

このようなことから、市としましては、高田区のみならず、市民の皆さんにわかりやすい情報を提供することが重要であると考えており、国が進めている改訂内容と整合を図りながら、引き続き、作成時期や対象範囲、記載内容等を検討してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



高田区の地域課題等について（高田区地域協議会委員からの意見）

当日配布資料No. 1

〈意見交換会（R2. 11. 30 開催）〉			〈R2. 11. 24 提出〉 松矢委員	〈R3. 2. 16 提出〉 宮崎委員
A班（委員：本城、飯塚、杉本、富田、村田、茂原）	B班（委員：高野、小嶋、佐藤、松倉、宮崎）	C班（委員：澁市、浦壁、栗田、西山、廣川）		
	<p>〈班のまとめ〉 空き家の活用、防犯・防災対策、高齢者支援、市に見守りに関する情報を求める、上越地域医療センター病院の内容充実</p>	<p>〈班のまとめ〉 ・中心市街地の空洞化、歩行者や自転車にやさしいまちづくり、町内会との連携 ・地域課題の協議方法は、部会で協議したことを定例会にあげる方法</p>		
・中心市街地の活性化（本町の店舗2階空き部屋の活用等）	・中心市街地の空洞化	・中心市街地の空洞化		
・雁木の保存、雁木を通じたまちづくり	・地域の環境整備（雁木や町家の復元・修景、儀明川の整備）	・町家の断熱リフォーム ・町家のごみ集積所の問題	・儀明川の清掃と桜並木の延長 ・高田城址公園外堀の魚釣り禁止	本町6、7丁目の雁木と町家を再現し、高田を再発信する
・空き地や空き家を活用した地域活性化	・空き家の活用	・空き家は個人財産であり、扱いが難しい		
・町内会役員のみならず手が足りない。次世代を担う若者と交流する	・子どもの減少	・人口減少によって生ずる問題（市の歳入の減少、少子高齢化、地域コミュニティの弱体化等）に対する将来を予測した戦略的な対応		
・地域防災力の充実・強化	・安全、安心なくらし（防犯・防災対策、高齢者の避難対策、横断歩道の白線復旧）	・安全、安心なくらし（歩行者や自転車にやさしいまちづくり、道路の一方通行の改善等）		
・朝市を通じた地域活性化	・朝市の活性化			
・コロナ禍において地域住民が絆を深め暮らしていく方策	・新型コロナによる地域内のコミュニケーションの分断			
・高齢者に何を望んでいるか等をヒアリングし、具体的な事業計画を立案する	<p>・高齢者等の見守り（どのように見守るか、見守る側の連携、市へ情報を求める等） ・高齢者の問題点の洗い出しと対策 ・買い物難民の問題は難しい。食品の宅配が増え、状況が変わってきているように見える</p>			
・まちづくりの活発な地域と活発でない地域の連携				
・高田区の催し等のPRが必要				
・子どもから大人まで楽しめるボルタリング施設の設置	・上越地域医療センター病院の改築費増額を懸念。大規模事業ではなく、病院の内容充実の方が重要	・高田駅裏口の早期実現への働きかけ		
<p>・町内会とどのように連携するか ・委員1期目に4か所で町内会と意見交換したが、その後やっていない ・指令部通りと本町通りの交界で高田を4ブロックに分け、地域課題を整理する ・地域協議会の役割をはっきりさせる必要がある。あらためて地域協議会の役割について意見交換すべき ・地域活動支援事業をフォローする ・地域協議会は何をやっているのか聞かれる。市民に分かりやすく伝える必要がある</p>		<p>・町内会とどのように連携するか ・地域課題の協議方法は、部会で協議したものを定例会にあげる方法がよい ・地域協議会と町内会の役割分担が分かるとよい ・地域協議会の役割に関する研修をしてほしい ・各種課題、テーマの研修・現地学習など勉強の場がほしい ・高田区地域協議会の高田区での認知度の向上</p>		